

文化交流館 新刊図書・ビデオ 案内

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



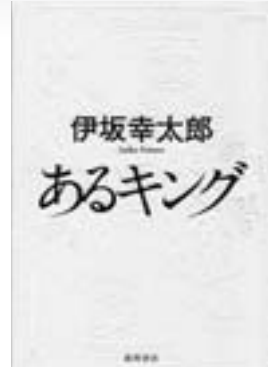
WALL·E
(アニメ DVD)
ウォルトディズニースタジオ

700年もの間、たったひとりでごみ処理を続けているロボット・ウォリーの夢は、いつかだれかと手をつなぐこと。ある日、突然現れた真っ白に輝くロボット・イブに一目ぼれしてしまったウォリーが、大切な宝物の植物を見せると思いがけない事態が! イブは植物を体内に取り込み、宇宙船に回収されてしまう。(98分間)



おつきみどろぼう(絵本)
作/ねぎしれいこ 絵/花之内雅吉

おばあさんが、おつきみだんごを作ってお供えします。十五夜のおだんごは、だれでもこっそりとして、食べていいんですって。「こっそり こっそり おつきみどろぼう」と、おばあさんも、ねずみやたぬきのお家のおだんごをこっそり食べました。でも、おおかみの家にはすすきしか飾られていなくて…。



あるキング(一般書)
著/伊坂幸太郎 刊/徳間書店

天才が同時代、同空間に存在する時、周りの人間になにをもたらずのか? ある野球チームの熱烈なファンである両親から、チームに入団し、優勝に導くことを生まれた時から運命づけられた山田王求。期待以上に王求の才能が飛び抜けていると知った両親は、異常ともいえる情熱を注ぐ。すべては「王」になるために。

だいせつざんのすがお

大雪山の素顔

山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員などで活躍する人たちをリレーしています。高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」といわれる大雪山の素顔が見えてきます。

「また来年」の旅立ち

大雪山の夏が始まる直前、南から姿を見せる鳥たちがいます。「夏鳥」と呼ばれる彼らは大雪山で巣作り、子育てをし、夏の終わりにそれぞれの越冬地へ旅立ちます。

姿見の池周辺で見つけやすい「ノゴマ」も夏鳥です。

日本では北海道の高山や草原でのみ夏を過ごすのです。越冬地は東南アジアや南西諸島の一部と見られ、国内の他の場所は渡りの際に通過するだけです。そのため多くのバードウォッチャーが「北海道で遭いたい鳥」の上位に数えます。

なぜノゴマは日本列島を縦断して渡りをするのでしょうか。東南アジアや本州の高原ではなく、海をいくつも越えた北海道まで飛ぶ理由はどこにあるのでしょうか。

鳥の季節移動については、1カ所のエサを食べ尽くさない意味があるとか、エサが豊富で外敵が少ない場所で子育てをするためといわれていますが、多くは謎のままです。どんな利点があっても、体の小さな鳥にとっては命がけの旅です。移動中の死亡も

多いと考えられます。ノゴマと話せるなら、どうしてなのか聞いてみたい、と思っています。「人間も山に登ったり、旅に出たりするでしょう」と言われてしまうかもしれませんが…。

大雪山でノゴマに出遭えるのは、残雪期の6月から緑が濃くなる8月まで。9月に入ると、ほとんど姿を見かけなくなります。10月には本州での目撃があるようですから、今ごろはどこか旅の空の下でしょうか。

夏鳥たちが去った山は、紅葉の季節です。一瞬の賑わいと雪の気配の中を歩くと、夏に聞いた歌声を思い出します。これから始まる冬に心が重くなることもあります。彼らが来年もまた帰って来ることは、とてもうれしい約束に思えます。

ところでノゴマは、大雪山に滞在する前後には、東川町内も通っているのではないかと考えています。5月に第三小学校の近くで見かけたことがあります。

仕事上、つい「大雪の大自然」ばかりに目がいてしまいがちですが、渡り鳥の目線で考えると、「身近な自然」が大雪山につながる道になっているのかもしれない。

文、イラストとも:旭岳ビジターセンター 田上 千尋



◀スズメより少し大きい。オスは喉(のど)の朱色がよく目立ち、繁殖期は低木の枝などでさえずる。メスは茂みの中が多く姿を見ることは少ない。